

# 日本・アジア/米国間コンテナ貨物の荷動き動向について

2022年11月 [往航] 速報値

(公財) 日本海事センター・企画研究部

2022/12/21

\*文中の%は、寄与度とシェアで特に記載がない場合は、対前年同月比を表します。

## I. 往航（アジア 18 ヶ国・地域→米国）の荷動き

1. 2022年11月のアジア（18 ヶ国・地域）から米国へのコンテナ荷動き量は、前年比 10.5% 減の 146.3 万 TEU。1-11 月の累計では、前年同期比 2.8% 増の 1976.2 万 TEU。
2. 国別  
日本は 22.3% 増となる 5.4 万 TEU、中国は 21.6% 減となる 79.5 万 TEU、韓国は 25.3% 増となる 10.1 万 TEU、台湾は 0.6% 減となる 5.8 万 TEU、ベトナムは 29.6% 増となる 16.7 万 TEU、インドは 3.9% 減となる 8.5 万 TEU。
3. 地域別  
ASEAN は 13% 増となる 33.7 万 TEU、南アジアは 7.6% 減となる 11.1 万 TEU。
4. 品目別  
「玩具、遊戯用具、スポーツ用品」（寄与度 3.7 ポイント減）、「繊維類及びその製品」（同 2.6 ポイント減）、「家具、寝具など」（同 0.8 ポイント減）などが減少の要因。  
「家具、寝具など」は 5% 減の 25.5 万 TEU、「機械類」は 4% 増の 15.1 万 TEU、「電気機器、AV 機器など」は 2.5% 減の 12.2 万 TEU、「繊維類及びその製品」は 25.9% 減の 12.1 万 TEU、「プラスチック及びその製品」は 6.7% 減の 11.6 万 TEU、「自動車部品など」は 9.1% 増の 8.8 万 TEU、「玩具、遊戯用具、スポーツ用品」は 47.1% 減の 6.9 万 TEU。

表1 2022年11月：積国・地域別荷動き

国. 地域	荷動量	前年比	シェア	累計	前年同期比
<b>18ヶ国・地域 合計</b>	<b>1,462,527</b>	<b>-10.5</b>	<b>100.0</b>	<b>19,761,598</b>	<b>2.8</b>
日本	53,562	22.3	3.7	598,660	12.3
韓国	100,746	25.3	6.9	1,109,677	10.6
台湾	58,335	-0.6	4.0	724,073	-4.3
<b>中国 + 香港 計</b>	<b>801,269</b>	<b>-22.3</b>	<b>54.8</b>	<b>11,301,230</b>	<b>-1.1</b>
中国	795,466	-21.6	54.4	11,200,642	-0.2
香港	5,804	-65.8	0.4	100,588	-49.2
マカオ	18	41.2	0.0	199	78.4
<b>ASEAN 計</b>	<b>337,405</b>	<b>13.0</b>	<b>23.1</b>	<b>4,637,423</b>	<b>10.0</b>
シンガポール	11,594	14.0	0.8	138,473	4.2
フィリピン	12,293	9.6	0.8	142,894	8.0
マレーシア	31,841	10.5	2.2	405,560	3.8
インドネシア	39,770	-3.5	2.7	516,559	17.4
タイ	61,308	-2.4	4.2	874,130	12.5
ベトナム	167,499	29.6	11.5	2,344,532	7.9
カンボジア	11,821	-13.9	0.8	199,982	29.0
ミャンマー	1,278	0.1	0.1	15,292	1.8
<b>南アジア 計</b>	<b>111,192</b>	<b>-7.6</b>	<b>7.6</b>	<b>1,390,336</b>	<b>7.5</b>
スリランカ	5,781	-9.9	0.4	71,371	6.3
バングラデシュ	8,927	-25.4	0.6	142,525	20.6
パキスタン	11,701	-15.0	0.8	140,827	-1.2
インド	84,784	-3.9	5.8	1,035,612	7.3

Note:

速報値ベースでの発表のため、翌月以降に若干の修正が加わる場合がある。

## II. 往航の品目別荷動き

表2 2022年11月: 品目別荷動き

順位	HSコード	品目名	荷動き量 (TEU)	前年比	寄与度	シェア
1	94	家具、寝具など	254,630	-5.0	-0.8	17.4
2	84	機械類	151,276	4.0	0.4	10.3
3	85	電気機器、AV機器など	121,640	-2.5	-0.2	8.3
4	50-63	繊維類及びその製品	121,319	-25.9	-2.6	8.3
5	39	プラスチック及びその製品	115,694	-6.7	-0.5	7.9
6	87	自動車部品など	87,564	9.1	0.4	6.0
7	95	玩具、遊戯用具、スポーツ用品	68,549	-47.1	-3.7	4.7
8	73	鉄鋼製品	61,745	-4.0	-0.2	4.2
9	40	ゴム及びその製品	58,707	0.6	0.0	4.0
10	64-67	履物、帽子、傘、つえ、調製羽毛など	48,606	-8.2	-0.3	3.3
11	16-24	調製食料品、飲料、アルコール、食酢など	43,299	13.2	0.3	3.0
12	41-43	皮革及び毛皮並びにこれらの製品など	34,438	51.9	0.7	2.4
13	47-49	木材パルプ、古紙、板紙など	32,707	3.9	0.1	2.2
14	78-83	卑金属及びその製品	24,162	-6.6	-0.1	1.7
15	44-46	木材	22,732	-7.7	-0.1	1.6
16	70	ガラス及びその製品	19,990	-11.6	-0.2	1.4
17	06-14	野菜、穀物、果実、採油用種子、茶など	19,826	12.6	0.1	1.4
18	69	陶磁製品	18,617	-6.6	-0.1	1.3
19	76	アルミニウム及びその製品	16,465	-12.2	-0.1	1.1
20	01-05	肉及び食用のくず肉、酪農品、魚介類など	14,773	9.4	0.1	1.0
		上位20品目合計	1,336,737	-7.6	-6.7	91.4

### III. コンテナ運賃の動向

表3 往航：コンテナ運賃の推移（2021年/2022年対比）

From	Shanghai(China)											
	Los Angeles(U.S.A.)						New York(U.S.A.)					
To	20ft			40ft			20ft			40ft		
Size	2021年	2022年	前年比 (%)	2021年	2022年	前年比 (%)	2021年	2022年	前年比 (%)	2021年	2022年	前年比 (%)
1月	4,270	8,130	90.4	5,170	10,770	108.3	5,250	11,030	110.1	6,560	13,600	107.3
2月	4,310	8,620	100.0	5,230	11,180	113.8	5,680	11,170	96.7	7,000	13,670	95.3
3月	4,130	7,770	88.1	4,920	9,570	94.5	5,140	10,900	112.1	6,340	13,000	105.0
4月	4,670	7,480	60.2	5,370	9,210	71.5	5,890	9,900	68.1	7,050	12,220	73.3
5月	5,940	7,090	19.4	6,580	9,040	37.4	8,380	9,120	8.8	9,370	11,200	19.5
6月	7,480	6,680	-10.7	8,380	8,550	2.0	9,130	8,570	-6.1	10,340	11,010	6.5
7月	9,240	6,650	-28.0	11,150	8,380	-24.8	11,270	8,540	-24.2	13,630	10,730	-21.3
8月	9,810	5,510	-43.8	11,730	7,240	-38.3	12,380	7,930	-35.9	15,020	10,030	-33.2
9月	8,690	4,130	-52.5	11,320	5,380	-52.5	11,510	6,860	-40.4	14,680	9,130	-37.8
10月	8,860	2,130	-76.0	11,240	2,870	-74.5	11,010	4,880	-55.7	13,740	6,520	-52.5
11月	7,530	1,940	-74.2	9,260	2,420	-73.9	10,460	4,550	-56.5	12,950	5,440	-58.0
12月	8,850			10,710			11,070			13,350		

From	Yokohama(Japan)											
	Los Angeles(U.S.A.)						New York(U.S.A.)					
To	20ft			40ft			20ft			40ft		
Size	2021年	2022年	前年比 (%)	2021年	2022年	前年比 (%)	2021年	2022年	前年比 (%)	2021年	2022年	前年比 (%)
1月	3,620	8,660	139.2	5,100	10,940	114.5	4,220	12,200	189.1	5,890	16,070	172.8
2月	3,450	10,560	206.1	4,850	12,520	158.1	3,890	11,690	200.5	5,490	15,400	180.5
3月	2,750	11,440	316.0	4,350	14,380	230.6	3,620	12,070	233.4	5,200	15,900	205.8
4月	3,650	11,550	216.4	4,910	14,320	191.6	4,750	12,070	154.1	6,470	15,900	145.7
5月	4,500	10,980	144.0	5,960	13,520	126.8	5,550	11,870	113.9	7,190	15,140	110.6
6月	7,760	8,980	15.7	9,840	11,510	17.0	9,140	10,850	18.7	11,550	13,630	18.0
7月	7,370	8,200	11.3	8,890	10,440	17.4	9,370	9,910	5.8	11,390	12,250	7.6
8月	7,530	7,000	-7.0	9,080	9,090	0.1	9,500	9,560	0.6	11,840	11,630	-1.8
9月	7,940	4,460	-43.8	9,700	6,650	-31.4	10,320	7,640	-26.0	12,790	9,940	-22.3
10月	8,600	4,390	-49.0	10,240	6,190	-39.6	11,100	6,190	-44.2	13,810	7,590	-45.0
11月	7,640	4,090	-46.5	9,640	5,660	-41.3	11,770	5,960	-49.4	15,400	7,080	-54.0
12月	9,680			11,520			11,440			15,040		

出所：Drewry 社

\* 単位：USD, %

#### IV. 米国内地域別荷動きの構成比の推移

年	月	西岸	東岸	ガルフ	その他
21	01	55.5	34.9	5.2	4.4
	02	56.5	34.8	5.1	3.7
	03	57.2	34.2	5.2	3.5
	04	56.8	33.4	5.5	4.3
	05	57.3	33.6	4.9	4.1
	06	54.0	35.6	6.2	4.2
	07	58.3	32.5	5.9	3.3
	08	52.1	36.9	7.2	3.9
	09	55.5	35.2	6.5	2.7
	10	54.4	36.5	6.4	2.8
	11	52.5	37.1	7.6	2.8
	12	47.9	41.1	7.6	3.5
22	01	54.1	35.0	7.0	4.0
	02	54.4	38.1	6.6	1.0
	03	54.2	36.5	6.7	2.6
	04	51.1	37.7	6.4	4.7
	05	54.2	35.9	6.2	3.7
	06	53.5	36.6	6.4	3.5
	07	51.5	37.1	7.1	4.3
	08	47.1	39.4	7.3	6.2
	09	45.8	40.2	8.7	5.3
	10	47.1	40.9	8.6	3.4
	11	46.8	39.3	9.1	4.8

# 日本・アジア/米国間コンテナ貨物の荷動き動向について

2022年11月 [復航] 速報値

(公財) 日本海事センター・企画研究部

2023/2/22

\*文中の%は、寄与度とシェアで特に記載がない場合は、対前年同月比を表します。

## I. 復航（米国→アジア 18ヶ国・地域）の荷動き

1. 2022年11月の米国からアジア（18ヶ国・地域）へのコンテナ荷動き量は、前年比10%増の49.4万TEU。1-11月の累計では、前年同期比6.5%減の525.1万TEU。
2. 国別  
日本は5.5%増となる5.3万TEU、中国は8.1%増となる13.4万TEU、韓国は12.8%減となる4万TEU、台湾は8.3%増となる5万TEU、ベトナムは4.7%増となる3.1万TEU、インドは32%増となる5.8万TEU。
3. 地域別  
ASEANは18.4%増となる13.6万TEU、南アジアは26.4%増となる7.2万TEU。
4. 品目別  
「木材パルプ、古紙、板紙など」（寄与度4.4ポイント増）、「プラスチック及びその製品」（同3.2ポイント増）、「野菜、穀物、果実、採油用種子、茶など」（同2.6ポイント増）などが増加の要因。  
「木材パルプ、古紙、板紙など」は22%増の10.9万TEU、「野菜、穀物、果実、採油用種子、茶など」は14.4%増の9.3万TEU、「プラスチック及びその製品」は50.1%増の4.3万TEU、「調製食料品、飲料、アルコール、食酢など」は10.2%減の4万TEU、「肉及び食用のくず肉、酪農品、魚介類など」は0.2%増の2.8万TEU、「鉄鋼」は0.4%減の2.6万TEU、「繊維類及びその製品」は51.9%増の2万TEU。

表1 2022年11月：揚国・地域別荷動き

国・地域	荷動量	前年比	シェア	累計	前年同期比
<b>18ヶ国・地域 合計</b>	<b>494,150</b>	<b>10.0</b>	<b>100.0</b>	<b>5,251,240</b>	<b>-6.5</b>
日本	52,586	5.5	10.6	595,133	-5.6
韓国	40,152	-12.8	8.1	570,026	-3.4
台湾	50,346	8.3	10.2	480,653	-10.9
<b>中国 + 香港 計</b>	<b>142,617</b>	<b>5.9</b>	<b>28.9</b>	<b>1,412,266</b>	<b>-12.2</b>
中国	134,189	8.1	27.2	1,310,907	-10.5
香港	8,428	-20.0	1.7	101,359	-29.3
マカオ	20	3.8	0.0	186	-2.2
<b>ASEAN 計</b>	<b>136,375</b>	<b>18.4</b>	<b>27.6</b>	<b>1,493,184</b>	<b>-6.1</b>
シンガポール	10,889	-4.1	2.2	132,413	-17.1
フィリピン	9,522	23.0	1.9	110,313	0.5
マレーシア	34,118	28.2	6.9	317,706	3.0
インドネシア	18,385	-2.8	3.7	247,394	-9.2
タイ	31,417	64.0	6.4	273,621	-7.1
ベトナム	30,603	4.7	6.2	390,003	-6.7
カンボジア	719	-51.2	0.1	16,619	-7.0
ミャンマー	722	11.2	0.1	5,114	-45.2
<b>南アジア 計</b>	<b>72,052</b>	<b>26.4</b>	<b>14.6</b>	<b>699,791</b>	<b>6.2</b>
スリランカ	1,211	-33.7	0.2	16,014	-20.4
バングラデシュ	1,170	30.6	0.2	24,057	-16.1
パキスタン	11,565	12.6	2.3	123,887	-9.2
インド	58,107	32.0	11.8	535,834	13.1

Note:

速報値ベースでの発表のため、翌月以降に若干の修正が加わる場合がある。

## II. 復航の品目別荷動き

表2 2022年11月: 品目別荷動き

順位	HSコード	品目名	荷動き量 (TEU)	前年比	寄与度	シェア
1	47-49	木材パルプ、古紙、板紙など	109,325	22.0	4.4	22.1
2	06-14	野菜、穀物、果実、採油用種子、茶など	92,727	14.4	2.6	18.8
3	39	プラスチック及びその製品	42,535	50.1	3.2	8.6
4	16-24	調製食料品、飲料、アルコール、食酢など	39,761	-10.2	-1.0	8.0
5	01-05	肉及び食用のくず肉、酪農品、魚介類など	28,245	0.2	0.0	5.7
6	72	鉄鋼	25,669	-0.4	0.0	5.2
7	50-63	繊維類及びその製品	19,862	51.9	1.5	4.0
8	44-46	木材	16,413	-35.9	-2.0	3.3
9	76	アルミニウム及びその製品	14,231	5.7	0.2	2.9
10	38	各種の化学工業生産品	10,743	6.6	0.1	2.2
11	87	自動車部品など	10,527	27.8	0.5	2.1
12	84	機械類	9,252	38.9	0.6	1.9
13	41-43	皮革及び毛皮並びにこれらの製品など	9,136	219.0	1.4	1.8
14	25	塩、硫黄、土石類、石灰及びセメントなど	8,704	-9.2	-0.2	1.8
15	28	無機化学品及び貴金属、希土類金属	7,328	15.4	0.2	1.5
16	40	ゴム及びその製品	5,922	43.8	0.4	1.2
17	86	鉄道、軌道用の機関車、その部品	5,760	99.8	0.6	1.2
18	74	銅及びその製品	5,719	39.8	0.4	1.2
19	29	有機化学品	4,094	17.3	0.1	0.8
20	73	鉄鋼製品	3,919	-0.2	0.0	0.8
		上位 20 品目合計	469,871	14.1	13.0	95.1



### III. コンテナ運賃の動向

表3 復航：コンテナ運賃の推移（2022年/2023年対比）

From	Los Angeles(U.S.A.)						New York(U.S.A.)					
	Shanghai(China)											
To	20ft			40ft			20ft			40ft		
	2022年	2023年	前年比(%)	2022年	2023年	前年比(%)	2022年	2023年	前年比(%)	2022年	2023年	前年比(%)
1月	1,220	980	-19.7	1,530	1,220	-20.3	1,380	1,390	0.7	1,680	1,720	2.4
2月	1,410			1,670			1,450			1,830		
3月	1,230			1,520			1,400			1,740		
4月	1,270			1,550			1,440			1,820		
5月	1,260			1,560			1,460			1,840		
6月	1,270			1,570			1,480			1,850		
7月	1,330			1,640			1,470			1,840		
8月	1,290			1,620			1,440			1,810		
9月	1,060			1,330			1,410			1,760		
10月	980			1,220			1,400			1,750		
11月	970			1,200			1,410			1,760		
12月	1,010			1,260			1,430			1,770		

From	Los Angeles(U.S.A.)						New York(U.S.A.)					
	Yokohama(Japan)											
To	20ft			40ft			20ft			40ft		
	2022年	2023年	前年比(%)	2022年	2023年	前年比(%)	2022年	2023年	前年比(%)	2022年	2023年	前年比(%)
1月	2,020	1,290	-36.1	2,920	1,710	-41.4	2,300	1,450	-37	3,210	1,810	-43.6
2月	1,990			2,820			2,270			3,050		
3月	2,010			2,910			2,360			3,310		
4月	2,060			2,930			2,370			3,350		
5月	1,890			2,700			2,210			3,070		
6月	1,780			2,530			1,990			2,510		
7月	1,650			2,330			1,850			2,370		
8月	1,640			2,290			1,850			2,350		
9月	1,590			2,220			1,780			2,320		
10月	1,410			1,870			1,700			2,130		
11月	1,370			1,810			1,650			2,060		
12月	1,320			1,720			1,530			1,940		

出所：Drewry 社

\* 単位：USD, %

#### IV. 米国内地域別荷動きの構成比の推移

年	月	西岸	東岸	ガルフ	その他
21	01	51.7	39.2	8.6	0.5
	02	53.3	39.4	6.5	0.8
	03	51.7	40.9	6.5	0.9
	04	50.9	41.6	6.2	1.3
	05	51.9	41.8	5.1	1.2
	06	51.1	41.2	6.7	1.0
	07	49.6	42.0	7.4	1.1
	08	53.9	37.8	7.0	1.3
	09	49.9	40.7	7.8	1.5
	10	51.0	40.5	7.3	1.2
	11	49.1	40.6	8.9	1.4
	12	49.1	40.5	9.7	0.7
22	01	54.4	37.2	7.7	0.7
	02	54.0	38.4	6.8	0.8
	03	48.8	40.2	9.5	1.4
	04	51.7	38.7	8.5	1.1
	05	52.1	39.7	7.5	0.7
	06	52.2	38.0	8.9	1.0
	07	49.8	40.8	8.2	1.2
	08	49.2	41.0	8.9	0.9
	09	51.1	37.8	10.3	0.9
	10	48.9	40.4	10.2	0.6
	11	50.4	38.5	10.6	0.6